~ 第1回 SDGs セミナー ~
『SDGsで猪苗代を活気ある街に』

今、世界的な潮流である地球社会、地球環境の持続可能性を達成しようという
SDGsを理解して、猪苗 代の創生に活かしていく思考と方法を学びます。
●日時:5月22日(日) 午後1時30分~3時30分(予定)
●場所:学びいな〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町鶴田１４１－１
Tel. 0242-72-0180
●講師:吉田 浩司 氏 同志社大学経済学部卒/元投資顧問会社取締役
CSR(企業の社会的責任)ストラテジスト認証取得
SDGs推進専門家/元外資系金融機関本部長
●定員:30名(先着順)
●料金:無料
◆お問い合わせ、お申し込みは「トップタウン猪苗代」へ。

電話090-2889-3808(古川秀和)

吉田浩司の〝SDGs〟セミナー

http://www.one-top.jp/
【ワントップデジタル情報局】
【 03-6260-9193 】

SDGs セミナーについてのご提案

～　SDGs を経営に統合するために　～

【セミナー担当の経歴】
講演者
吉田浩司：外資系銀行に25年間勤務し、外国為替業務、信託銀行業務、コンプライアンス関連管理業務などの本部長職歴任。その後、日本の投資顧問会社に10年勤務し、その内5年間取締役を務めた。現在、アーク東短オルタナティブ株式会社に勤務し、ESG投資等に従事しながら、CSRエキスパート認証取得し、CSR観点からSDGsを企業、業界団体、大学等においてセミナーを開催し、SDGs拡散活動中。

講演協力者
尾池厚之：現ユネスコ代表部大使として、教育、科学、文化、世界遺産等に取り組んでいる。また2015年のSDGs採択時には、外務省地球規模課題審議官（局長級）として事務方の責任者を務めた。そのほか、米国、中国、韓国、ジュネーブ等で、次席公使（副大使）や経済部長（公使）を歴任。また、ユネスコは国連の教育機関でもあり、SDGsの政策と整合性の高い機関である。

【セミナーのテーマ】
企業経営者の「SDGsとは何か?」と言う「分からない、知らない」という根本的な課題から、それに起因する「何をしなければならない?」「何もしなくても問題はないのか?しないとどうなるのか?」という疑問と悩みという状況において、最初の段階としてSDGsの理解、気づきへと導きます。そして、それを起点として、企業経営の観点から「何をすべきか?」、「何ができるか?」、「どのように施策していくか?」、「損をしないか?儲かるか?」という思いに、具体的な実例をもって、企業経営に取り込むヒントを提示します。

【セミナーに参加して得られるもの】
セミナーに参加頂いた方には次のことをお約束いたします。
・SDGsという話題に躊躇することなく参加できるようになる。
・現在のお仕事の中でのSDGsとの関わりに気付くことができる。
・ご自身のビジネスに絡めてSDGsにどう取り組めるかという思考ができる。

【セミナー内容】
最初、現役大使である尾池厚之からのメッセージ。国、外務省としてSDGsに対する考

えや概念、歴史、及び現況と今後予想される状況について説明。現在フランスのパリに在任中の為、ZOOM等での参加か、或いは事前に録画した動画での参加となります。大使からの内容は以下の通り。
●自己紹介
●コロナ禍とSDGs
●今後の世界での取り組み
●日本政府の取組
●企業として取り組むことが有益な理由

その後、吉田浩司から尾池大使の話のおさらいと基本的なSDGsの全体像と狙いに加えて、SDGsの取組み、経営への統合の方法論等を次のステップに基づいて具体的、実践的に説明をします。
●ステップ1：SDGsを理解する
●ステップ2：自社事業と強みを絡めて優先課題マテリアリティを特定する
●ステップ3：目標と指標を設定する
●ステップ4：既存の事業活動に統合する為の施策を実行し、PDCAサイクルを回す
●ステップ5：結果と進捗状況の情報開示とステークホルダーとの交流を図る

【セミナー所要時間】
質問の時間も含めて約90分。

【費用】
費用は発生致しません。但し、オフラインの場合、会場代等の諸経費があった場合のみ、費用をお願い致します。

【我々がSDGs拡散活動するようになったストーリー】
私、吉田浩司がSDGsに出会ったきっかけは、4年半前に白血病を患い、入院していた時のことです。中学校からの親友で、それぞれ違う学生時代を過ごし、それぞれの仕事に就いた後もずっと良き友、相談相手である尾池厚之君が、海外赴任の合間を縫って見舞いに来てくれました。その時、彼が、以前、地球規模課題害議官（局長）を担当していたことを思い出したのです。「地球求規模課題って何?」って疑問が、事の始まりだったのです。
死も意識し、自分の人生を振り返りながら、「仕事は頑張ったけど、入社したての頃の思い、社会に貢献できるような何かをできたかな?」と思っていた時に、地球規模課題を解決しようとの試みSDGsに出会ったのです。もし、病気を克服できたなら、自分の残りの人生を使って、この次の世代の為に、SDGsに質献できる活動をしたいと考えました。

それは、まだ生きたいという気持ちにエールをくれたのです。まだ病床にある時から、SDGsをCSRの観点から企業経営にどのように統合していくかを学び、検定に合格することで、拡散活動をする自信をつけてきました。そして、セミナーなどの活動をしていくことを尾池君に話したところ、「是非2人でSDGsを広げる活動をしよう」と協力を申し出てくれました。それが2人で活動を開始することになったストーリーです。（添付、2020年10月2日、日経新聞朝刊の「交遊抄」を参照下さい。）

今こそSDGs　尾池厚之
2020/10/2付｜日本経済新聞　朝刊
ほぼ半世紀にもなる良い友人がいる。アーク東短オルタナティブ勤務の吉田浩司君だ。中学1年の時に出会い、中学3年時は生徒会で私が会長、彼が副会長として活動した。以降「ヨッタ」「オイケン」と呼び合う仲で、飲むといつも午前様だ。
ヨッタは責任感が強く、人の気持ちを大切にする。シティバンク銀行が行政処分を受け2005年にプライベートバンキング部門を閉鎖した時は信託業務部長としてスタッフの再就職先を探し、最後に建を閉めた。この時ばかりは「明けない夜はない。明日できることは今日やるな」との外務省のことわざで彼を励ました。
彼は16年秋に突然白血病を患った。1年後ようやく退院できたので快気祝いをしたら、

当時彼が取締役を務めていた会社から病気を理由に解雇されたことを知り、愕然とした。それでも彼は前向きで、再就職先を探しつつ、国連のSDGs（持続可能な開発目標）の普及活動を始めた。
死をも意識した入院中にSDGsを知り、生き残れば力を尽くそうと決めたらしい。私は外務省の地球規模課題議官として関わった経験があり「それなら一緒にできる」と生徒会時代のように盛り上がった。コロナでしばらくお預けかなと思っていたら、今こそ推進しなくてはと叱られた。一緒に頑張りたい。（おいけ、あつゆき=ユネスコ政府代表部大使）

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、知的所有権協会【アイデア企画】またはその情報提供者に帰属します。

尾池 厚之（おいけ あつゆき、1960年（昭和35年）8月26日 - ）は、日本の外交官。国際連合教育科学文化機関日本政府代表部特命全権大使。

経歴・人物
大阪府立北野高等学校卒業[1]、東京大学法学部卒業、1983年外務省入省。1984年か

ら英国研修を受け、オックスフォード大学大学院国際関係論学科卒業、修士（M. Litt）。1986年在フィリピン日本国大使館二等書記官。1988年外務省欧亜局西欧第二課事務官。1990年外務省経済協力局有償資金協力課課長補佐。1993年外務省中近東アフリカ局中近東第二課首席事務官。1995年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官。1997年外務省経済局総務参事官室首席事務官。1999年外務省北米局北米第二課企画官。2000年外務省北米局北米第二課日米協力推進室長。同年外務省経済局開発途上地域課企画官併任（日シンガポール経済連携協定交渉担当）。2001年外務省アジア大洋州局大洋州課長。2003年外務省経済局国際経済第一課長。2004年外務省経済局開発途上地域課長。同年外務省経済局経済連携課長。2007年在大韓民国日本国大使館総務公使。同年在大韓民国日本国大使館経済公使。2010年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使（経済）。2012年在中国日本国大使館公使（経済部長）[2][3]。2014年外務省大臣官房地球規模課題審議官（大使）、公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金評議員[4]。2016年在アメリカ合衆国日本国大使館次席公使[5][6]。2017年TPP等政府対策本部首席交渉官代理[7]。2020年国際連合教育科学文化機関日本政府代表部特命全権大使[8]。
【ウィキペディア】より…